



竹の子川柳会

おもしろい本をたくさん読書する
小学校三年生

えん足だどきどきわくわく止まらない
小学校三年生

けんさする前にどきどきしちゃうんだ
小学校三年生

明日にはつばめのたまごかえるかな
小学校四年生

宿題で十分読書しんけん
小学校四年生

あと五分マンガ読みたいでもごほん
小学校五年生

雲に乗り青空を飛ぶどこまでも
小学校六年生

立春のどきどきとしたクラスがえ
小学校六年生

変異株雲行き悪化管総理
中学校二年生

明日こそリベンジするぞその希望
高校一年生

風吹けば雲は到底かなわれない
高校一年生

明日までの課題たくさん眠れない
高校二年生

ひよし川柳会

バレンタイン年をとつても嬉しいね
水野すみこ

息の長い絆で集う趣味の会
中城 英雄

こころよい汗一息ついた秋の風
宇都宮 忍

仕合わせだ一家息災年を越し
山本 雅之

息苦しい菓ごもり限度ギブアップ
熊本 忠真

コロナ禍が息子の帰省邪魔をする
菅原 由紀

共感呼んで不滅となるドラマ
山本 節

山谷を越えたドラマの人生譜
兵頭チヨカ

大家族今日もドラマを仕入れ中
若宮 賢敬

悲劇でも喜劇でもなく生きた道
大崎 五葉

朝ドラ見て元氣もらつてさあやるぞ
木村 貞子

コロナ禍でいつももやもや吹つきれず
川添 忠昭

もやもやは返事の来ないプロポーズ
渡辺 光男

政官のもやもや霞む深い霧
米子 達雄

鬼北の足跡をたどる【第2回】



鬼北の「鬼」とは何なのか

日本各地に目を向けると、鬼北の「鬼（おに）」に通じる「日本古来の先祖の霊・山の神」としての「おに」を色濃く残している例があります。

日本では亡くなった人の魂は長い年月が経つと浄化し、祖霊として里から望むことができる神聖な山へと還り、山の神になると考えられていました。山の神は、さまざまに形で現れますが、代表的なものの一つが、山岳修行の開祖と祀られる役行者が従えた前鬼、後鬼という山の精霊「おに」です。

また、滋賀県葛川（かづがわ）というところでは、比叡山天台僧の夏季修行が行われますが、そこで修行の案内役を務めるのは、浄鬼と浄満という人の姿をした二匹の「おに」です。この地域では節分の豆まきは「福は内、鬼も内」と唱えるそうので、「おに」は幸福をもたらす存在として大事にされていることがわかります。

ほかにも大分県国東半島の六郷満山（むくつらみさん）は、「鬼が仏になった里」と言われるほど「おに」が祀られています。修正鬼会という仏教儀礼では山神の化身としての「おに」が主役となり、人々に幸福をもたらします。修正鬼会の晩には、人々と「おに」が共に踊り、長年の友のように酒を酌み交わすそうです。

このような「日本古来の祖先の霊・山の神」として伝わる「鬼（おに）」は案外各地にみられます。



▲大分県国東六郷満山
修正鬼会という仏教儀礼で
山神の化身として現れる鬼